

鎌倉幕府の滅亡

幕府の基礎がゆらぎ始めると、天皇は幕府を倒そうとします。など有力御家人が天皇方について年に幕府は滅びました。この天皇は年号をとあらためて、という新しい政治を始めました。しかし、だけを重んじた政治にはの不満が出て、武家政治の復活を望む声が高まりました。これを受けてが兵を挙げ、京都に別のを立て、京都に幕府を開きました。地方のは国内の武士をしたがえて国司のかわりに領地を支配するようになりました。これをといいます。後醍醐天皇は奈良のに逃げだしました。この人の逃げ足の速さは^{ぼつくん}抜群だったそうです。こうしてとの2つの朝廷が対立する時代が始まり、その後約年間続きます。この間、武士たちは京都の北朝か吉野の南朝について戦いました。この戦を

3代将軍のころ、南朝がおとろえてが統一されました。また、彼は中国（）との貿易を始めました。貿易船は、このころ問題になっていた海賊（）と区別するための合い札をもっていたので、この貿易をと呼びました。日本は明からやを輸入し、明へはを輸出しました。このころ、朝鮮半島ではが高麗をたおしてを建てました。3代将軍はを建てたことも覚えておきましょう。

鎌倉・室町時代の人々の暮らし

13世紀後半、農業では、米を作った後に麦などの作物を作るが始まりました。各地ではが作られ、交通の要所にはやという運送業者が栄えて市も増えました。村には自治組織であるが作られで村のきまりが作られ、商工業者は同業組合のを作って公家や寺社（寺や神社）の保護を受けました。大阪のは明との貿易で栄え、有力なを中心に自治を行われました。また、大きな寺社の町もにぎわいました。

^{げこくじょう}下剋上の世

こうして、団結する村や町が生まれて、たびたびがおこるようになります。最初の土一揆は、その元号（今の元号は平成）をとって、の土一揆とよばれます。幕府は、くりかえしおこる土一揆の要求におされて、借金の帳消しを命じるを出すようになりました。京都では、守護大名の氏と氏の争いに將軍家のあとつぎ争い等が結びついて、年にが始まりました。この戦いは11年も続いて京都は焼け野原となり、幕府の

力はおとろえました。

他にも、守護大名を追い出した_____国一揆や、浄土真宗（一向宗）の信者たちが幕府や守護大名との戦いに勝利して100年近く自治を続けた加賀の_____が有名です。このように下の者が上の者に実力で打ち勝って地位をうばう風潮は_____と呼ばれて社会全体に広がっていき、実力で一国の支配者になる_____大名があらわれるのです。この大名は、領国を支配するための_____法を作り、自分の住む城を建てて、城のまわりに_____町を作りました。

結びつけられた世界

では、日本の戦国時代のころに、外国ではどのようなことがおこっていたでしょうか。1492年_____はインドを目指して航海をし、それまで知られていなかった_____大陸を発見します。ポルトガル人の_____はインド航路を発見し、_____は世界一周に成功します。このように船で大冒険の旅をした時代を_____時代といいます。この時代に活躍した国が_____とポルトガルです。この2つの国は、戦国時代の日本にとっても重要なものを伝えました。スペイン人の_____は_____を伝えました。スペインをはじめとするヨーロッパでは_____がおこって_____教会とプロテスタントがはげしく争うようになり、信者のへったカトリック教会は、_____を作ってアジアでの布教活動に力を入れたのです。ポルトガル人は_____島に流れ着いて_____を伝えました。

天下統一をめざして

この新しい武器をうまく使って天下統一を目指したのが_____です。彼は_____の戦いで今川義元をやぶった後に京都へ入り、足利義昭を将軍にして自分は実権を握りました。その後_____を追放して_____幕府をほろぼしました。_____の戦いでは、この新しい武器を活用して、甲斐の_____氏をやぶりました。また、座がもっていた商工業の独占権を取り上げて商工業の発展をうながしました。これを_____といいます。

しかし、天下統一直前に、_____寺で家来の明智光秀に攻撃されて自害しました。

家来の_____はすぐに明智光秀をたおし、天下統一をなしとげました。彼は、_____をおこなって田畑の生産量（_____）を記録して税（_____）の基準をつくりました。また、一揆を防ぐために農民から刀ややりを取り上げました。これを_____といいます。これによって武士と農民を区別する_____がすすみ、身分の区別が強まりました。

彼は全国统一をなしとげると、中国（ ）の征服を計画して、 に協力するよう要求してことわられると、15万人もの兵を朝鮮に出しました。しかし、民衆の抵抗や のひきいる水軍の反抗で日本軍は敗戦をかさね、秀吉の死とともに兵を引き上げました。

1600年、 は、豊臣氏を支援する らを の戦いでやぶり、全国の大名をしたがえました。そして、 年に朝廷から に任命されて江戸幕府を開きました。1615年には大阪城の豊臣氏を攻め滅ぼし（ ）、豊臣方の大名から領地をとりあげて、全国の大名を支配する基礎をつくりました。

幕府は、大名を支配しやすいように配置がえし、 や大阪・ 金山など重要なところを直轄領ちよっかつりようとしました。また、交通を整備するために、五街道（ ・ ・ 甲州街道 ・ 奥州街道 ・ 日光街道）を整え、関所せきしょや宿場しゆくばも支配し、3代将軍の のときに幕府のしくみは完成しました。

石以上の領地を与えられた武士を といい、家臣しだがを従えて領民を支配しました。そのしくみを と呼び、幕府と藩が全国の土地と民衆を支配するしくみ全体を、 体制と呼びます。幕府は、大名の反抗を警戒して、 を定め、1年おきに領地を離れて江戸に滞在する を義務づけました。また、天皇と公家に対しては、 諸法度しよほつとを定め、朝廷を監視しました。

徳川家康は、 による貿易を奨励しょうれいし、東南アジアには日本人が住む ができました。東南アジアではポルトガル・スペイン・オランダなどヨーロッパの船も活動していて、これらの船は日本へもやってきました。ヨーロッパ人との交流が深まると、 教の信者がふえました。家康は、貿易の利益のために初めはキリスト教を黙認していましたが、1612年に禁教令を出して、 など信者を見つけだして厳しく取り締まりました。こうしたなか、信者の多かった長崎県と熊本県で、 を中心としてキリスト教禁止と重い年貢に反対する大規模な一揆が起きました。これが、 ・ 一揆です。幕府はこれをしずめるのに苦労したので、キリスト教信者がこれ以上増えないように、スペインに続いて 船の来航も禁止して を完成させました。